

① 研究業績

1. 著書

『新界标日本語総合教程 1 修订版』(徐敏民・丸山千歌主編)(彭瑾・喬穎・小川誉子美・奥野由紀子・四方田千恵) 復旦大学出版社 2022

『蚕と戦争と日本語—欧米の日本理解はこうして始まった』(小川誉子美) ひつじ書房 2020

『日本語文法演習 複文—ことからの関係を表す表現 改訂版』(小川誉子美・三枝令子) スリーエーネットワーク 2019

『敬語の事典』(荻野綱男編)項目執筆「話題の人に対する待遇」115~120 (小川誉子美) 朝倉書店 2022

2. 論文

小川誉子美「ハンガリーの日本語教師—1910年代から1960年代を中心に」『日本語教育連絡会議論文集』 35巻 2023

小川誉子美「琉球-パリ 日本語学習の息吹(6) ギメの東洋語学校とジャポニスム」『ふらんす』 3月号、第98巻第3号 白水社 2023

小川誉子美「琉球-パリ 日本語学習の息吹(5) 医師ムリエの科学研究」『ふらんす』 2月号、第98巻第2号 白水社 2023

小川誉子美「琉球-パリ 日本語学習の息吹(4) 日本学の始祖 レオン・ド・ロニー」『ふらんす』 1月号、第98巻第1号 白水社 2023

小川誉子美「琉球-パリ 日本語学習の息吹(3) フランスを救った〈養蚕秘録〉」『ふらんす』 12月号、第97巻第12号 白水社 2022

小川誉子美「琉球-パリ 日本語学習の息吹(2) 幕府を驚かせたフランス政府通訳の誕生」『ふらんす』 11月号、第97巻第11号 白水社 2022

小川誉子美「琉球-パリ 日本語学習の息吹(1) 琉球にたどり着いた宣教師」『ふらんす』 10月号、第97巻第10号 白水社 2022

小川誉子美「ハンガリーで日本語とモンゴル語を教授 外山高一の活動」『Rômazi no Nippon』 674 日本のローマ字社 2022

小川誉子美「冷戦下旧ソ連の日本語教育史の一断面 — 日本の国立大学の20年に及ぶ

試み 一」『日本語教育連絡会議論文集』 34 (頁 22-31) 2021

小川誉子美「ソ連の日本語研究・日本語教育ーレニングラードを中心に」『新世紀人文学論究 特別記念号ー全地球時代からの人文主義』第4号 (頁 237-250) 2021

小川誉子美「ソ連の日本語教師岸田泰政」『日本語教育連絡会議論文集』 33, (頁 7-16) 2021

小川誉子美・重盛千香子「ウィーンの日本研究・日本語教育に携わった人々ー 戦間期を中心に 一」『日本語教育連絡会議論文集』 32, (頁 23-28) 2020

小川誉子美「日本語学習と社会背景ー19世紀のフランスとイタリアの事例からー」『ヨーロッパ日本語教育』24号、 (頁 459-465) 2019

小川誉子美「イタリアの日本語教育と日本人教師の活動ー1930年代から1950年代の日伊交流を中心に」『新世紀人文学論究』第3号 (頁 69 - 84) 2019

小川誉子美「日本におけるフィンランドの紹介ー戦後20年間の活動内容と意義」『日本とフィンランドの出会いとつながり』 大学教育出版 (頁 171 - 184) 2019

Yoshimi OGAWA, Suomea tunnetuksi tehneet japanilaiset oppilaineen kahdella sodanjälkeisellä vuosikymmenellä Suomi ja Japani. Kaukaiset mutta läheiset, PP. 164-177, 2019

小川誉子美「海外の日本語教師と学習者の活動に関する一考察ー北欧フィンランドの事例から」『日本語教育連絡会議論文集』 31, (頁 93-101) 2019

Yoshimi Ogawa, Chikako Shigemori Bucar, A Korean who taught Japanese in 1930s Vienna:Do Cyong-ho(Toyu-ho)based on Finnish and Japanese sources,Koreans and Central Europeans informal Contacts up to 1950,vol.2, Praesens, pp.33-44, 2018

小川誉子美「日本語教育のルーツをたどるーウェブサイトで学ぶ日本語教育史」『日本語教育連絡会議論文集』 vol.30 (頁 27-36) 2018

小川誉子美「日本語を教える意味を戦前の在欧日本人講師の声にたどる」『ヨーロッパ日本語教育』22号、(頁 437-443) 2018

3. 科研費実績

ロシア・中東欧の現代日本語教育史の記述ー社会主義時代からの変遷を中心に 2019年4月・2022年3月 基盤研究(C) 19K00735 代表者：小川誉子美

現代日本語教育史研究のための情報リソースの構築ーグローバルな視座の育成に向けて

2016年4月 - 2019年3月 基盤研究(C) 16K02806 代表者：小川誉子美

4. 学会発表、他

小川誉子美「邦字紙に見るハンガリーの日本人教師」第35回日本語教育連絡会議 2022年08月(オンライン)

小川誉子美「ドイツと日本語・横浜・人物秘話～17世紀から第2次世界大戦期までを辿る～」『日独交流160周年記念オンライン講演会』横浜日独協会主催・2021年11月(オンライン)

小川誉子美「冷戦時代の日本語教育史 — 日本とソ連・東欧間の交流協定に注目して」第34回日本語教育連絡会議 ヴィータウタス・マグヌス大学 リトアニア 2021年08月(オンライン)

小川誉子美「ソ連時代の日本語教師とその資料について」第31回日本資料専門家欧州協会年次大会 ロシア科学アカデミー サンクトペテルブルク ロシア 2021年9月(オンライン) Yoshimi OGAWA, Japanese native teachers in the Soviet era and their records: The 31st EAJRS Conference European Association of Japanese Resource Specialists, Materiality and virtuality in Japanese studies resources, Institute of Oriental Manuscripts of the Russian Academy of Sciences, Saint Petersburg, Russia, 2021, ONLINE

小川誉子美「旧ソ連の日本語教育」第33回日本語教育連絡会議、ヴィータウタス・マグヌス大学 リトアニア 2020年08月(オンライン)

小川誉子美 重盛千香子「戦間期ウィーンの日本語教育—ド・チョンホ、岡正雄、A.スラヴィークをめぐる」第32回日本語教育連絡会議 ウィーン大学オーストリア 2019年09月

小川誉子美「日本語学習と社会背景—19世紀のフランスとイタリアの事例から」第23回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム ベオグラード大学 セルビア 2019年08月

小川誉子美「日本におけるフィンランド—1950年代を中心に」Suomen ja Japanin diplomaattisuhteiden 100-vuotisjuhlaseminaari, ヘルシンキ大学 フィンランド 2019年05月

小川誉子美「日本語教育学研究の最前線」華東師範大学語言学院講演会 中国 2018年3月

その他

[セミナー・ワークショップ]上級文法待遇表現の授業使用に関連した素材紹介 および16世紀以降の西洋人の日本語学習史と待遇表現 2022年11月公益社団法人国際日本語普

及協会 AJALT 定例会員研修会

[セミナー・ワークショップ] デジタルアーカイブでのぞく自宅で日本語教育史研究：講師 日本語教育史研究会 2020 年度ワークショップ 2020 年 10 月（オンライン）

[テレビ・ラジオ番組] 西洋における日本語教育の歴史 NHK 第 2 放送 私の日本語辞典 2021 年 10 月 全 5 回

②社会活動

日本語教育学会 学会誌委員会委員 2021 年～

日本語教育史研究会会長 2020 年～

公益財団法人日本のローマ字社理事 2023.6～

日本ウラル学会理事 2010 年 6 月～2022 年 5 月

日本総合学会学会誌編集委員長 2001 年～2003 年、2015 年～

日本語教育学会 審査・運営協力員 2016 年～2022 年 6 月

② 学内活動

教育実践専攻運営委員会委員 2021.4～2023.3

施設部会委員 2018.3～2022.3